

上部余白 31 mm

左余白 17 mm

右余白 17 mm

明朝・18 ぽ・左右中央
(最大 2 行)

約 15 mm

空気調和・衛生工学会論文集 版下原稿作成用 レイアウト見本

ゴシック・12 ぽ

約 7 mm

第〇報——和文論文作成例 ← 明朝・12 ぽ

約 10 mm

明朝・12 ぽ・左右中央
4 名以上は 2 段組み
右肩に * を付す

空調太郎*¹ 空調花子*³
衛生小次郎*² 衛生学*³

約 10 mm

和文概要
明朝・9 ぽ・37 字詰め
左右中央, 8 行以内

論文委員会にて採用が決定した論文は、採用をお知らせするとともに、指定する期日までに、原則として完全な版下原稿を提出していただきます。

この“レイアウト見本”は、当学会論文集の完全版下原稿(和文)を作成するために必要な情報を、版下原稿の体裁をとって記載してあります。

28 mm

論文投稿時および採用決定後は、“執筆要綱”とこの“レイアウト見本”に基づき、印刷仕上がり後に十分判読できるよう、版下原稿を精密かつ鮮明に作成してください。

28 mm

なお、“論文題名”、“著者名”、“勤務先・所属部署名および会員資格”につきましては、誌面統一のために、筆者作成内容に基づいて当学会にて組版し直しますが、スペースを正しくとり、正確に作成してください。

ゴシック・8 ぽ

約 7 mm

キーワード：理論解析・実験・実測 ← 明朝・8 ぽ・左右中央

約 15 mm

本文
明朝・9 ぽ

ゴシック・10.5 ぽ

1 行

はじめに

本文は、明朝体・9 ポイントで、1 ページ 26 文字×46 行の二段組みとします。

見出しのレベルは次のとおりとします。各段落の最初の行は、1 文字分スペースを空けてください。

なお、“はじめに”、“結論”、“謝辞”および“付録”などは章番号を振りません。

ゴシック・10.5 ぽ

1 行

1. 章の見出し(2 行になるときは、この例のように改行します。)

1.1 節の見出し

ゴシック
9 ぽ

(1) 項の見出し ← 明朝・9 ぽ

a 細目見出し

以下、文章が続きます。なお、章の見出しのみに 1 行空けてください。

罫線入れる

明朝
8 ぽ

*¹ 空調工業(株)設備部 正会員

*² 空調大学工学部 正会員

*³ 衛生大学大学院工学研究科 正会員

箇条書きにする場合は、下記のとおりとします。

1) 第 1 箇条書き

a) 第 2 箇条書き

1 行

2. 数 式

文中の式については執筆要綱“12. 数と数式”を参照して記入してください。

独立した式は数式用のフォントを用い、左から 2 文字分スペースを空けて、整数式は 1 行分、分数式は 2 行分のスペースの中央に記入し、右詰めで……(1)、……(2)、のように、2 文字分のリーダー(…)に続けて番号を振ります。

量記号で構成された式の掛け算は“・”や“×”を用いず記入し、主に数値で構成された式の掛け算は“×”を用いて記入します。

なお、2 行以上になる数式は、数学記号が行の最初になるように工夫して改行します。

$$Q_0 \frac{d\theta_r}{dt} = W_0(\theta_{out} - \theta_r) + \varepsilon S + H \quad \dots\dots(1)$$

ここに、

W_0 : 基準システムの総括熱通過量 [W/K]

下部余白 25 mm